



十二町っ子だより

学校だより 第3号
令和8年6月29日
氷見市立十二町小学校

新しい活動にチャレンジ～田植え体験～



4・5・6年生が田植えを体験しました。URUKI 林業さんのご協力で、新大正もちの苗をURUKI VILLAGEの水田に植えました。新しい活動にチャレンジした子供たち。おそろおそろ田に足を入れていましたが、次第に慣れていきました。オニバス池に入った経験のある子供たちなので、田のぬかるみにあまり抵抗がなかったのかもしれません。転ぶ子供も見られず、次々と苗を植え付けることができました。秋には稲刈りも予定されています。もちつき大会にはこのもち米が使われます。田植え、稲刈り、もちつきという一連の体験を通して、日本文化や地域の素晴らしさ、食の恵みを実感してほしいと思います。

挨拶ほかほか週間・小中連携挨拶運動

6月2日～8日の挨拶ほかほか週間では、各学年担当日に挨拶運動を行いました。6年生は毎日参加し、ポイントに照らして挨拶名人を見付け、昼の放送で紹介しました。また、全校で互いのよさを見付けて紹介し合いました。

6月17日、18日は、中学校と連携して挨拶運動を行いました。本校を卒業した中学生の挨拶を見習い、代表委員の子供たちも元気に声を響かせました。自分の兄や姉と共に挨拶運動を行った代表委員もいました。振り返りの場では、中学生と代表委員が互いを認め合う場面が見られ、小中連携の挨拶運動のよさを感じました。



これからも、学校、家庭、地域で、気持ちのよい挨拶ができるとともに、互いを温かく認め合う十二町っ子を目指していきます。

ふれあい花壇での花苗の植え付け



2・3年生の子供たちが、老人会の方々と一緒にふれあい花壇で花苗の植え付けを行いました。子供たちに寄り添い、優しく教えてくださった老人会の皆さん。おかげで、サルビア、ペチュニア、マリーゴールド等、色とりどりの花でいっぱいの花壇になりました。花を育てる心を大切にしてほしいと思います。

サツマイモの苗植え

1～3年生の子供たちが、中谷内営農組合とJAの方に協力していただき、サツマイモの苗植えを行いました。前日の雨でぬかるみもありましたが、どの学年の子供たちも丁寧に植え付けていきました。秋の収穫が楽しみです。



ご協力 ありがとうございます

＜資源リサイクル活動＞



6月21日に資源リサイクル活動を行いました。天候が心配されましたが実施することができました。早朝にも関わらず、多くの方々が参加してくださり、子供たちも進んで手伝ってくれました。

P T Aの皆さんや地域の皆さん、子供たちのおかげで多くの資源リサイクル品が集まりました。この活動による収益金は、子供たちの教育活動に活用させていただきます。

＜自転車安全運転講習会＞

6月25日に、4年生の子供たちを対象に児童委員会による「自転車安全運転講習会」を実施しました。P T Aの皆さんや保護者の皆さんに手厚くご指導いただいたおかげで、子供たちは自転車を安全に運転するポイントを理解したようです。今後、保護者の皆さんの見守りをお願いいたします。



たくさん食べて元気な体 わくわく保健集会～けがや病気に気を付けよう～

6月24日に「たくさん食べて元気な体 わくわく保健集会」を行いました。廊下を走らず歩いている子供の表彰や、けがの手当てについての劇、元気な体をつくる食べ物について質問し合う対話タイムがありました。また縦割り班で栄養バランス玉入れや空手ストレッチ等を体験するウォークラリーもありました。保健委員会の子供たちのおかげで楽しみながら健康について考えることができました。

今後も、体も心も元気いっぱいできるように、集会での学びを生かしてほしいと思います。



十二町っ子の活動～総合的な学習の時間～

イタセンパラ教室（5年生）

学芸員の方のお話から、イタセンパラは成長の過程で食べる物が変わること、腸が長く体の形が菱形に近いこと、稚魚が誕生するのは5月下旬であること等々、様々な特徴を知ることができました。産卵管が伸びた状態の標本を見ることで、オスとメスの違いが分かりました。卵からかえって2週間程の稚魚も見せていただきました。

絶滅危惧種であり十二町を含む3つの地域にしかないイタセンパラは、猛暑や卵を産み付ける貝の減少等により、更に減ってきていることを知りました。5年生で協力して飼育の準備を行いました。環境が整ったらイタセンパラを飼育し始めます。

